

平成 26 年 5 月 22 日 00171 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】

北見消防署の定期立ち入り点検がありました！

5 月 13 日（火）14 時 30 分、北見市武道館の消防設備を北見地区消防組合消防署庶務課予防担当が定期立ち入り点検を行いました。佐藤施設長と山本防火管理資格者が施設をくまなく案内し、念入りに対応しました。今年の 10 月に開館した新しい施設で、火災予防設備は十分完備されており、特に問題はありませんでした。尚、火災避難訓練を 9 月頃に予定しており、その時期が来たら計画を提出することになっています。

北見剣道赤胴大会が武道館で開催！

5 月 18 日（日）10 時より北見市武道館において北海道青少年錬成大会「赤胴」少年剣道錬成大会予選会が行われました。会場には小学生から中学生までの男女、約 40 名が参加し、日頃の稽古を競い合いました。



連載 中国「老子」の思想 五十五章 無心の強さ

内面に多大の徳を秘めた人は、いわば赤子のごときものである。

無心な赤子は、毒虫も刺さない。猛獣も爪をかけない。猛禽も飛びかからない。

体は柔らかくもろいのに、拳こぶしだけは固く握りしめている。男女の交わりとは無関係に、力強く勃起する。自然の精気が充満している証拠だ。

朝から晩まで泣き叫んでも、声がかれない。自然に順応しきっている証拠だ。

自然に順応しきるなら、遂には無窮の境地に到達する。無窮の境地を知ってこそ、明知といえる。

ところが世の人々は、作為によって力をつけては、それが喜ばしいことだと考え、自然に逆らって私意を通しては、それが強さだと考えている。

強壮のかげには必ず老衰が潜む。これを悟らず、強壮にのみ執着するのは、「道」にはずれた行為である。

「道」にはずれた行為は長続きしない。

原文:含徳之厚、比於赤子。毒蟲不螫、猛獸不據、攫鳥不搏。骨弱筋柔而握固。未知牝牡之合而作、精之至也。終日號而不嗁、和之至也。知和日常、知常曰明。益生曰祥。心使氣曰強。物壯則老、謂之不道。不道早已。爲學日五

十六章に続く